

### 第3章-3 東アジア文化圏の形成 (隋・唐)

(1). \_\_\_\_\_ (581 ~ 618) ……首都 \_\_\_\_\_ (西安)

初代 \_\_\_\_\_ (本名 \_\_\_\_\_、581-604)

589 南朝の陳を滅ぼし全国統一

均田制・租庸調制・府兵制 ……唐の項で詳述

\_\_\_\_\_ (598) ……官吏登用試験 (～ 1905) ……宋の項で詳述

第2代 \_\_\_\_\_ (604-18)

国内…… \_\_\_\_\_ 建設……江南の豊富な物資を華北に供給

対外…… \_\_\_\_\_ 遠征、3回失敗 → 農民反乱 → 618 唐に禅譲

(2). \_\_\_\_\_ (618 ~ 907) ……首都 \_\_\_\_\_ (西安)

初代 \_\_\_\_\_ (本名 \_\_\_\_\_、618-26)

第2代 \_\_\_\_\_ (本名 \_\_\_\_\_、626-49) ……事実上の建国者、 \_\_\_\_\_ の治

▶ 法…… \_\_\_\_\_ (刑法) ・ \_\_\_\_\_ (行政法) ・ \_\_\_\_\_ (律令の補足改正) ・ \_\_\_\_\_ (施行細則)

▶ 中央官制…… \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ ・ 一台 ・ 九寺 ・ 五監

- ・ 三省…… \_\_\_\_\_ 省 (詔勅起草)
- \_\_\_\_\_ 省 (詔勅案審議) ……門閥貴族の牙城 (封駁=拒否権あり)
- \_\_\_\_\_ 省 (執行、六部を統率)
- ↓
- ・ 六部…… \_\_\_\_\_ 部 (官吏任免、貴族の牙城)
- \_\_\_\_\_ 部 (戸籍・均田・徴税)、 \_\_\_\_\_ 部 (祭祀・文教。科挙実施)
- \_\_\_\_\_ 部 (軍事)、 \_\_\_\_\_ 部 (司法)、 \_\_\_\_\_ 部 (土木)
- ・ 一台…… \_\_\_\_\_ (監察)

▶ 土地・人民の支配

- ・ \_\_\_\_\_ 制……均等に土地を支給 (隋代から、奴隸・耕牛への支給は廃止)
- 口分田……一代限りの支給 (死後返却)、丁男 80 畝 etc.
- 永業田……世襲、身分に応じて面積制限、丁男 20 畝 etc.
- 上級官僚=貴族に職分田支給、大土地所有も存続
- ・ \_\_\_\_\_ 制……丁男 (=口分田の支給をうけた成人男子) を対象にした課役
- 租…… 田 100 畝 (=丁男 1 人) につき、粟 2 石
- 役……都での労役、年 20 日 (+15日で調免除、さらに+15日で租免除)
- 庸……辺地の者は物納で代える (絹 6 丈 or 布 7 丈 5 尺)
- 調……絹・綾など 2 丈 + 綿 3 両 or 布 2 丈 5 尺 + 麻 3 斤
- 雜徭……地方での労役 40 ~ 50 日
- ・ \_\_\_\_\_ 制……兵役の間は租庸調等免除 (但し武器は自弁)
- 衛士 (都の警備)、防人 (国境防衛、一生に一度 3 年)

▶ 対外政策…… \_\_\_\_\_ 政策……服属した周辺異民族を懐柔

\_\_\_\_\_ ……長官である都護、及び官吏・兵士は中央から派遣  
その支配下の州の長官等に服属した異民族の族長を任命

(3). 唐と隣接諸国

< 朝鮮半島 >

三国時代…… \_\_\_\_\_ (北、BC1c ~)、 \_\_\_\_\_ (南東、AD4c ~)、 \_\_\_\_\_ (南西、AD4c ~)

663 唐・新羅の連合軍、百濟を滅ぼす (この時日本は百濟援助=白村江の戦)

668 唐、高句麗を滅ぼし安東都護府設置

→ 東北地方に \_\_\_\_\_ 国 (698-926、ツングース系靺鞨人=高句麗の残存勢力)

676 \_\_\_\_\_、唐の勢力を排除し半島統一 (-935)、首都・金城 (現・慶州)  
仏教文化、 \_\_\_\_\_ 制……身分制度 (骨=王族、品=非王族)

< 西域・チベット >

640 唐、高昌国を滅ぼし安西都護府設置 → 658 龜茲を滅ぼし移転

← \_\_\_\_\_ (チベット王国、首都ラサ)、建国者 \_\_\_\_\_ (?-649)

763/5 安史の乱の際、長安占領 チベット仏教の成立

790 安西都護府・安西四鎮・北庭都護府、吐蕃により滅ぶ

< 雲南・ヴェトナム >

679 安南都護府 ↔ 雲南のチベット・ビルマ系国家 \_\_\_\_\_ 国 (738-902)

< 西域～北方 >

トルコ系 \_\_\_\_\_ 大帝国 (552 成立、583 東西分裂)

↔ 安北都護府・単于都護府

630 東突厥を討つ (682 復興) 657 西突厥を討つ (→分散)

744 トルコ系 \_\_\_\_\_、東突厥を滅ぼしモンゴルに建国  
(安史の乱の際、唐室を援助)

※ 751 \_\_\_\_\_ 河畔の戦い……唐軍、アッバース朝に敗北 (製紙法西伝)

(4). 唐の動揺と滅亡

▶ \_\_\_\_\_ の禍

・ \_\_\_\_\_ (高宗の皇后)

690 息子 2 人 (中宗・睿宗) を廃し自ら即位、国号を \_\_\_\_\_ とする  
貴族らの反抗を抑えるために科挙官僚を重用

この政治改革を評価して「武周革命」と呼ぶ

705 その死に際して中宗に譲位。唐が復活。

・ 韋后 (中宗の皇后) ……710 夫・中宗を毒殺

↔ 睿宗の子・李隆基が韋后一派を討ち、父・睿宗を復位させる

第6代 \_\_\_\_\_ (712 ~ 56) ……治世前半 = \_\_\_\_\_ の治 (綱紀肅正、農民生活安定図る)

しかし 740 \_\_\_\_\_、宮中に入る。 752 楊国忠、宰相となる  
751 \_\_\_\_\_ (ソグド人、駝駝人)、3 節度使を兼任、楊国忠と抗争

755~63 \_\_\_\_\_ ……安祿山とその部下 \_\_\_\_\_ の反乱)  
玄宗、四川に逃れ、子の肅宗に譲位 → \_\_\_\_\_ の援兵を導入し鎮圧

▶ 諸制度の変更

・ \_\_\_\_\_ 制 (←均田制の崩壊)  
商業発達で富を蓄積した富豪が、その財力で土地を兼併し  
没落逃亡した均田農民を吸収して小作人 (\_\_\_\_\_) とする  
新興地主階級 = 科挙官僚の母体 (宋代の士大夫)  
一方、中世以来の門閥貴族は、武韋の禍・安史の乱で完全に没落

・ \_\_\_\_\_ 制 (←府兵制の崩壊)  
兵役は均田農民の最大の負担 → 737 長征健児制 = 完全な職業軍人制に  
\_\_\_\_\_ ……辺境防衛の募兵軍団の指揮官 (710 初設)  
軍事のみならず行政権も併せ持つ。  
のち内地にも設置 → 地方軍事政権割拠 = \_\_\_\_\_

・ \_\_\_\_\_ (←租庸調制の崩壊) ……780 宰相 \_\_\_\_\_ の建策  
人民を現住地に登録  
夏・秋の2回徴税 (華北……夏 = 麦の収穫、秋 = 粟の収穫)  
人民の土地・財産所有額に応じ課税、原則として銭納 (農民は物納可)

※塩の専売 (758) ……これ以後、歴代王朝伝統の主要財源に ⇔ 密売商人  
塩 1 斗原価 10 銭を、110 銭で専売 → まもなく 370 銭に

▶ 滅亡

875-84 \_\_\_\_\_ の乱 ……塩の密売業者、王仙芝・黄巢らの指導下に農民反乱  
朱温、反乱軍から寝返り乱を鎮圧。(‘全忠’の名を賜る)

907 \_\_\_\_\_、唐を滅ぼす。

(5). \_\_\_\_\_ 時代 (907 ~ 60)

▶ 五代 ……華北中原に5つの短命王朝、藩鎮出身、武断政治

- ①. \_\_\_\_\_ (907 ~ 23) ……朱全忠が建国、首都・ \_\_\_\_\_ (③~⑤も同じ)
- ②. \_\_\_\_\_ (923 ~ 36、洛陽)
- ③. \_\_\_\_\_ (936 ~ 46) ……契丹の援助で建国 → \_\_\_\_\_ を割譲
- ④. \_\_\_\_\_ (946 ~ 50)
- ⑤. \_\_\_\_\_ (951 ~ 60)

▶ 十国 ……各地に合計 10 国が興亡 (地図で確認) ……藩鎮が独立

(6). 唐の経済

農業進歩 ……華北 = 麦・粟の2年3作、華中華南 = 稲・麦の二毛作  
商業発展 ……ただし、まだ都市は軍事都市的性格  
長安などの都城では商業を許可された地区 (市) でのみ  
⇔ 次第に商業都市も出現、貨幣経済も発展  
対外貿易 ……陸路 = イラン系 \_\_\_\_\_ 商人  
海路 = アラブ系イスラム商人

(7). 唐の文化

貴族的文化 ……貴族はパトロン、南朝の華麗な文化と北朝の剛健な文化の融合  
国際的文化 ……西方の影響、東アジア文化圏形成

▶ 儒学 ……訓詁学 \_\_\_\_\_ (574 ~ 648) ……『五経正義』  
太宗の命で編纂、経典の解釈統一 (←科挙)

▶ 文学 ・ \_\_\_\_\_ ……絶句、律詩などの形式確立 (→科挙の試験科目に)  
盛唐 …… \_\_\_\_\_ (701 ~ 62、詩仙)  
\_\_\_\_\_ (712 ~ 70、詩聖) ……「春望」  
\_\_\_\_\_ (701 ~ 61、自然詩人)  
中唐 …… \_\_\_\_\_ (772 ~ 846、楽天) ……「長恨歌」

・ 文章 ……中唐以後、“古文復興” (→宋代ルネサンスの先駆)  
\_\_\_\_\_ (768 ~ 824) ……「推敲」の逸話  
\_\_\_\_\_ (773 ~ 819)

▶ 書道 ・ 初唐 ……王羲之流の典雅な書が流行 (←太宗が王羲之の収集家)  
・ 盛唐 …… \_\_\_\_\_ (709 ~ 85) 力強い楷書、革新的 (彼の気骨ある人生を反映)

▶ 絵画 …… \_\_\_\_\_ (南朝に始まり唐・宋期にさかんになる)  
\_\_\_\_\_ (680 ~ 750)  
\_\_\_\_\_ ……水墨単彩山水画の創始、文人画・南宗画の祖

▶ 工芸 …… \_\_\_\_\_ (陶器、白・緑・褐色に彩色して上薬をかける、西方伝来の手法)

▶ 宗教 ・ 仏教 \_\_\_\_\_ (602 ~ 64) ……インドへ陸路往復、「 \_\_\_\_\_ 」  
\_\_\_\_\_ (635 ~ 713) ……インドへ海路往復、「 \_\_\_\_\_ 」

・ 道教 ……帝室により保護 → 845 武宗による「会昌の廃仏」  
(この時、三夷教も弾圧)

・ 三夷教 …… { マニ教 (摩尼教)  
ゾロアスター教 (\_\_\_\_\_, ソグド人のみ、中国人へは布教せず)  
ネストリウス派キリスト教 (\_\_\_\_\_) ……781 大秦景教流行中国碑

・ イスラム教 (回教) ……広州、泉州などに駐在するアラブ商人

## 第6章-2 東アジア諸地域の自立化 (中国の近世、宋)

### 1. 東アジアの勢力交替

- ▶ 朝鮮・・・\_\_\_\_\_ (918～1392) 建国初代\_\_\_\_\_ (918～43)、首都・開城  
「大蔵経」(仏教経典を集成)、高麗青磁
- ▶ 雲南・・・南詔国にかわり\_\_\_\_\_国 (937～1254)
- ▶ ヴェトナム・・・\_\_\_\_\_朝\_\_\_\_\_国 (1009～1225)

### 2. 北方の諸勢力

- ▶ \_\_\_\_\_ (916～1125, モンゴル系\_\_\_\_\_族)  
建国初代\_\_\_\_\_ (太祖, 916～26)  
916 契丹国建国 (→946 遼→982 契丹国→1066 遼)  
926 渤海国を滅ぼす  
936 後晋の建国を援助し、\_\_\_\_\_獲得  
農耕漢民族をも支配下に置く (=征服王朝の初め)  
  
〔・二重統治 〔南面官・・・農耕民(漢人、渤海人)→中国的州県制  
北面官・・・遊牧民(モンゴル人)→部族制  
・漢化を避け国粹保存に努める・・・920 契丹文字(しかし漢字の影響あり)〕〕  
  
1004 \_\_\_\_\_・・・宋と和解、**歳幣外交**を強いる  
銀10万両・絹20万疋(1042より20万両・30万疋 ～1123まで)  
※遼の奢侈貿易・・・歳幣は贅沢品の購入で西方へ流出するのみ、発展には結びつかず
- ▶ \_\_\_\_\_ (1038～1227, チベット系\_\_\_\_\_族、正式国号は「大夏」)  
建国者\_\_\_\_\_、首都・興慶 \_\_\_\_\_ 西夏文字  
シルクロード入口を制し貿易活動。宋軍を破り歳幣外交を強いる
- ▶ \_\_\_\_\_ (1115～1234, ツングース系\_\_\_\_\_族=半農半獵)  
建国初代\_\_\_\_\_ (ワヤンアクダ、太祖、1115～23)  
遼の支配下から独立、 \_\_\_\_\_ 女真文字  
  
・二重統治 〔部族制・・・\_\_\_\_\_・\_\_\_\_\_  
1 猛安=10 謀克=3000 戸、兵は1 謀克 100 人  
華北・・・中国風の官制〕  
  
1125 宋と結び遼を滅ぼす  
↓  
※ \_\_\_\_\_ (カラ=キタイ、1132～1211)  
遼の皇族 \_\_\_\_\_、カラ=ハン朝を滅ぼし中央アジアに建国

### 3. 宋の統治

- (1). \_\_\_\_\_ (北宋、960～1126)・・・首都 \_\_\_\_\_ (=汴州)  
初代 太祖(名 \_\_\_\_\_、960-76)  
  
〔・文治主義・・・節度使から軍事・行政権をとりあげる ↔ 禁軍(皇帝親衛軍)強化  
・ \_\_\_\_\_ の整備・・・ \_\_\_\_\_ を行う(972)  
解試(郷試、地方試験)、省試(会試、中央試験)の上に追加  
宮中、皇帝臨席の下で試験→成績順に任用される=貴族政治の崩壊  
→ 士大夫階級・・・新興地主階級( \_\_\_\_\_ )  
官吏を出した戸は“官戸”として戸籍に明記され徭役免除、両税も減額  
⇓  
・社会矛盾の拡大  
官戸の増加・・・政府の財政収入減少 → 一般民戸の負担増加  
防衛費増大による財政難、農村(物調に苦しむ)と都市(驕奢)の格差拡大〕
- ▶ \_\_\_\_\_・・・第6代 **神宗**(1067-85)、 \_\_\_\_\_ を宰相に登用(1068-76)  
農民・中小商工業者の生活安定と生産増加、財政の確立、軍事力強化  
  
〔① \_\_\_\_\_ 法・・・農民に対する低金利の融資  
② \_\_\_\_\_ 法・・・予算を立て、物資を多く産する所で必要量のみ調達する  
(余分に物資調達→不要分を安く政商に払下げ、という悪循環を崩す)  
③ \_\_\_\_\_ 法・・・市易務(開封)、市易司(地方大都市)を設置。=国立の銀行兼倉庫業機関  
中小商工業者の商品が売れない時、それを買上げたり、抵当にうけて融資をする  
④ \_\_\_\_\_ 法・・・予算を立て、労役義務のある上等戸から免役銭を徴収し、労働力提供者を雇う  
⑤ \_\_\_\_\_ 法・・・農村自警団の組織、警察業務に当らせ、軍事教練を施す  
⑥ \_\_\_\_\_ 法・・・民間に官馬または代価を給して馬を養わせ使役に供し、戦時の軍馬を確保  
(遼・西夏からの馬の供給がとまり軍馬不足だった)〕  
→ 党争・・・**新法党 VS 旧法党**  
1086 旧法党の \_\_\_\_\_、宰相となり新法廃止(同、馮光・瑛石とも死)  
以後、新法の廃止や復活に伴う政治混乱が続く  
  
1125 宋、金と結んで遼を滅ぼす  
この後、宋が違約 → 金の開封包圍。徽宗退位、欽宗即位  
1126 \_\_\_\_\_・・・金が、徽宗・欽宗らを北方連行、北宋滅ぼし華北支配
- (2). \_\_\_\_\_ (1127～1279)・・・高宗(1127-62、欽宗弟)、首都 \_\_\_\_\_ (=杭州)  
対金政策・・・ \_\_\_\_\_ (和議派) VS \_\_\_\_\_ (主戦派)  
1141 秦檜、冤罪により岳飛を殺す  
1142 金と和す・・・淮河を国境とし、宋が臣礼・歳幣  
徽宗の棺のみ返還(生きていた欽宗は南宋側が要求せず)

(3). 宋代の社会・経済

- ▶ 荘園制 & \_\_\_\_\_ 制……隷属的小作人 (法的には自由民だが、現実的には地主の支配からの脱却は困難)
- ▶ 江南の発展＝「江浙(蘇湖) 熟すれば天下足る」……稲作  
手工業も発展、\_\_\_\_\_ の陶磁器 (白磁・青磁などの磁器が作られる)
- ▶ 商業の発展……北宋の開封、南宋の臨安(杭州) とも商業都市  
同業者組合… \_\_\_\_\_ (商人)、 \_\_\_\_\_ (手工業者)  
対外貿易……市舶司による国家管理  
貿易港 ……杭州、泉州 (マルコ・ポーロが「ザイトン」と記述)、広州 etc.  
世界初の紙幣…… \_\_\_\_\_ (北宋) ・ \_\_\_\_\_ (南宋)、銅銭と併用(兌換紙幣)  
初めは民間発行の手形 → やがて宋政府が発行権を管理

(4). 宋代の文化

中世の形式主義打破＝“宋代ルネサンス”

知識人階級の文化……理知的 (←科挙)、民族主義的 (←外患) ⇔唐代の国際文化  
庶民文化も発展

- ▶ 歴史 \_\_\_\_\_ (1019-86)「 \_\_\_\_\_ 」…… \_\_\_\_\_ による通史(BC.403-AD.959)

- ▶ 宋学……儒学が訓詁学から脱却し新たな展開

- 北宋……周程学派＝性理学 ←仏教(禅宗)の影響で自然と人間の関係を考察  
\_\_\_\_\_ (1017-73)「大極図説」  
程顥 (1032-85、ていこう)、程頤 (1033-1107、てい)
- 南宋…… \_\_\_\_\_ (1130-1200) …… \_\_\_\_\_ を大成
  - ①. 四書の重視……「論語」「孟子」「大学」「中庸」(「五経」は古典、「四書」は哲学書)
  - ②. 性理学……理気二元論  
本来、天の理と人の性(性)は一体である(＝性即理)  
しかし凡人においては、気(人の欲望)が理性を抑圧している  
→格物致知(＝窮理)により理性を取戻す(学問重視、主知主義)
  - ③. 大義名分論……君臣の別、華夷の別を明らかにする

→君主独裁制正当化→官学として固定化(科挙のテキストとなる)



\_\_\_\_\_ (象山、1139-92) →明代の陽明学の先駆  
唯心論、心即理(人の心が宇宙の本体)、徳育重視(⇔朱子の主知主義)

- ▶ 文学

- 散文……“古文復興”＝史記などが模範、形式より内容重視(＝唐代以来のルネサンス)  
\_\_\_\_\_ (1007-72)、 \_\_\_\_\_ (1036-1101、蘇東坡「赤壁賦」)  
王安石、蘇洵、蘇轍、曾鞏 (+唐の韓愈・柳宗元で「唐宋八大家」)  
范仲淹「岳陽楼記」
- \_\_\_\_\_ ……楽曲の歌詞、庶民から上流まで広い階層に行われる

- ▶ 山水花鳥画 \_\_\_\_\_ (北宗画) ……彩色華麗、宮廷中心、徽宗皇帝「桃鳩図」  
\_\_\_\_\_ (南宗画) ……水墨単彩、知識人中心
- ▶ 宗教
  - 道教 \_\_\_\_\_ ……金の支配下の華北で、儒・仏・道の融合  
正一教 ……江南で、従来の道教
  - 仏教……禅宗(知識人)、浄土教(庶民)
- ▶ 三大発明…… \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ (紙とあわせて中国の四大発明)

第6章-3 モンゴル民族の発展 (中国の近世、元)

(1). モンゴル帝国

遼の滅亡後、分裂していたモンゴル諸部族に統合の動き

- ①. \_\_\_\_\_ (テムジン、1162-1227、太祖)
  - 1206 モンゴル諸族統一、 \_\_\_\_\_ (族長会議)にて大ハンに推戴
  - 1211 金に侵略開始
  - 1215 燕京(北京)攻略、金は開封遷都
  - ※耶律楚材(1190～1243) ……金に仕えていた遼の王族
  - 1215 チンギス=ハンの政治顧問となる  
→のち、オゴデイの下で中書令として漢人統治に功績
  - 1219 西征開始、ナイマン部を滅ぼし西遼の旧領地を征服
  - 1220 ホラズム朝を滅ぼす
  - 1227 西夏を滅ぼす。東帰途中で死去。
- ②. \_\_\_\_\_ (太宗、1229-41)
  - 1234 金を滅ぼし華北支配
  - 1235 首都 \_\_\_\_\_ (和林) 建設
  - 1236-43 \_\_\_\_\_、ロシア遠征
  - 1240 \_\_\_\_\_ 公国を滅ぼす(→“タタールのくびき”)
  - 1241 \_\_\_\_\_ の戦……ドイツ諸侯連合軍を破る
  - 1243 キプチャク=ハン国建国

※初めて「カアン(ハーン,Khaan)」と称する  
※ \_\_\_\_\_ =大モンゴル皇帝  
「カン(ハン,Khan)」=部族長

- ③. グユク(定宗、1246-48) 早死→大ハン位はオゴデイ家からトゥルイ家へ
- ④. \_\_\_\_\_ (憲宗、1251-59)
  - 1253-58 \_\_\_\_\_、西アジア遠征
  - 1258 バグダード攻略し \_\_\_\_\_ 朝を滅ぼす→イル=ハン国建国
- ⑤. \_\_\_\_\_ (世祖、1260-94)
  - 1266-1301 \_\_\_\_\_ の乱  
オゴデイ家のカイドウが、チャガタイ家と結んで反乱
  - ↓
  - クビライは中国本土に勢力確立し、弟フレグのイル・ハン国と結ぶ

▶ 帝国分裂……分割相続、広大すぎて画一支配不可能

{	_____ (※～1389、アルマリク)	→ 1369 ティムール帝国
	_____ (1258-1353、タブリーズ)	↓
	_____ (1243-1502、サライ)	→ 1480 モスクワ大公国

※かつて「オゴタイ=ハン国」もあったとされていたが、現在、それは「ハイドゥの国」でしかなく、これが14世紀初にチャガタイ家に乗っ取られて「チャガタイ=ハン国」となったとされる。

(2). \_\_\_\_\_ (1271～1368)

▶ 世祖 クビライ (フビライ、1260-94)

1264 \_\_\_\_\_ (北京) 遷都、1271 国号を元とする  
1279 厓山の戦い……南宋を滅ぼす

▼ 対外

吐蕃……1253 服属

雲南……1254 大理国を滅ぼす。

→この時、タイ人が南下してスコタイ朝(1257)建国→アユタヤ朝(1351-1767)

高麗……1259 服属

日本……1274 文永の役、1281 弘安の役 (= \_\_\_\_\_、失敗)

ベトナム…… \_\_\_\_\_ 朝 (1225-1400)、元軍侵入を3度退ける。  
字喃 ( \_\_\_\_\_、独自の文字)

ミャンマー……1287 パガン朝 (1044～) を滅ぼす → ペギー朝成立 (1287-1539)

ジャワ……元軍侵攻をきっかけに \_\_\_\_\_ 王国 (1293-1520) おこる

▼ 国家体制……モンゴル人第一主義、二重統治

{	支配階級	①. モンゴル人
		②. _____ ……チンギス=ハンの時服属した西域人
	被支配階級	③. _____ ……オゴデイの時服属した金の統治下の住民
		④. _____ ……クビライの時服属した南宋統治下の住民

中央……中書省 (その長官=丞相) が行政機関として尚書省・六部を統率  
地方……行中書省 (行省、省、= “中書省の出張所” の意味)

※現在の中国の行政区画が～省であるのはここに由来する

※モンゴル人は中国文化に劣等感をもたなかった (先にイスラム文化を知っていたから)

公用語=モンゴル語

公文書= \_\_\_\_\_ 文字……1269 チベット仏教僧パクパ (パスパ) が作成  
クビライの帝師

科挙停止……1313 復活するも、漢人は高官にはなれず

※中国社会に根本的変化なし……モンゴル人は極めて少数で、中国社会に寄生していただけ

▼ 経済

貨幣制度…… \_\_\_\_\_ = 金・元の不換紙幣 (銅銭発行無し)

交通整備……駅伝制 (= \_\_\_\_\_、站赤)  
幹線道路に駅 (站) を置き、官命旅行者 (←牌を交付) の便宜を図る

▼ 衰退

原因 ①. 大ハン位の相続争い  
②. チベット仏教優遇による奢侈→財政難→交鈔乱発・専売強化→インフレ

1351～68 \_\_\_\_\_ の乱……白蓮教徒 (仏教的な民間信仰) の農民反乱

1368 朱元璋、南京より北伐して大都攻略、元滅亡  
(明の建国者) →元の残存勢力はモンゴル高原へ (北元、～1391)

(3). 元の文化

東西交流、庶民文化は盛ん ⇔ 伝統文化、特に儒学は不振

▶ 庶民文芸…… \_\_\_\_\_  
戯曲、曲 (歌)・科 (しぐさ)・白 (せりふ) からなる歌劇の台本  
「西廂記」、「漢宮秋」、「琵琶記」

▶ 天文暦学…… \_\_\_\_\_、1280 \_\_\_\_\_ (太陰太陽暦) 作成  
イスラム天文学を取り入れる。→江戸時代の貞享暦に影響を及ぼす

▶ 宗教……宮廷がチベット仏教を保護し浪費

▶ 西洋人の東訪

\_\_\_\_\_ (イタリア人) ……教皇インノケンティウス4世使節  
1246年、カラコルム着 (→グユク)

\_\_\_\_\_ (フランドル人) ……フランス王ルイ9世使節  
1254年、カラコルム着 (→モンケ)

\_\_\_\_\_ (イタリア人)  
1294年、大都大司教に着任。中国へのカトリック布教の初め

※以上3名はフランチェスコ修道会

\_\_\_\_\_ (ヴェネツィア商人) ……著書「 \_\_\_\_\_ (東方見聞録)」  
1275年、陸路で大都着、→クビライに仕える  
1292年、帰国 (イル=ハン国までは海路で)

※イブン・バトゥータ (モロッコ人) ……著書「三大陸周遊記」  
元に来たと書かれているが、疑義あり。